

令和元年七月二十八日 北海道旭川（北海道第二）ひかりのやかた偉光会館開所に向けて

神 示

「光」みちが通る心の姿を教えん

「教え」を学び 「真理」を悟り 我が「心」を見詰めて生きる
自然と心は安定し 不安に迷う思いは消えてゆく

この時 運命に信者の心人生は導かれ 悪あしき実体は抑えられている
今今日 信者が目指し 求める心は 「真実の愛」

「教え」に生きるほど 人間は 奉仕の思いが引き出され
無償の愛に「心」包まれる

我が「運命」を 社会に奉仕して生活する心の姿に

「希望の光」みちが通る
「希望の光」みちを歩む人人間の心は 「神の心」に近づき

互いの運命を重ね 補い合って 社会を「正道」へと導く

信者に申す

「教え」に生きて 「心」を神神魂に預ける努力をする

ますます社会の姿真実が見えて 「心」に気付き 悟りを深めてゆく
知識と徳に優れ 多くの人人々を神神魂へとつなぐ 手本の人存在と成ってゆく